



かなや やすひろ 金谷 康弘 議員



録画映像は
こちらをCHECK

いいのか渇水 対策基金枯渇

答 一般会計財源で 対応しかない

問 上越新幹線様名トンネルの井戸枯れ補償の渇水対策施設は、基金と水道会計からの600万円で補填している。基金の原資の約5億円は、現在8600万円で、あと4.5年で枯渇するが、一般会計からの持ち出しとなるのか。

答 町長 安定的な農業用水や水道水を供給する必要がある。一般会計の財源で対応していくしかない。
問 現在、渇水対策施設の水の運用方法は。
答 産業建設課長 農業用水で群馬用水・明治用水ともに利用している。また、水道水の自己水源として活用。雑用水として小倉ブドウ園でも利用。

問 渇水対策施設の維持管理費は年間数千万円。財源確保のために、豊富できれいな水の利用は。
答 産業建設課長 過去に小水力発電とペットボトル飲料で、財源確保を検討したが、事業化に至っていない。
問 町の人口は、平成元年1万3千人で30年は2万1千人の約1.6倍増。町税は8億4700万円から25億5千万円で約3倍の増。扶助費は2億1千万円から18億6千万円の約8倍増。渇水対策施設維持管理の財源確保を。
答 産業建設課長 維持管理の方法、施設のあり方や、長寿命化計画についても、関

係機関と協議・検討。
問 森田家住宅が町指定重要文化財になったが、防火対策は。
答 町長 個人の所有者の防火管理。町は、消防署などからの指導を伝達。消火栓の場所の確認など所有者と行っている。
問 消防防災総合訓練に、災害対策本部長として参加した町長の所感は。
答 町長 初めての町全体の訓練で、反省点も多くあるが、訓練を重ねることで実際の災害に対応し得る体制ができるようになる。
問 都市計画マスタープランには2つの核として駒寄スマートICとJR新駅がある。新駅についての町長の見解は。
答 町長 さまざまな視点から検討したい。



全貌が現れたデ・レイケ自害沢9号堰堤

問 新駅は進めるのか、進めないのか。

答 町長 公共交通の要。必要性を感じる。

自害沢9号堰堤文化財報告書の追記を

答 追加記入を対応

問 デ・レイケ自害沢9号堰堤は発掘調査で全貌が確認された。町の文化財調査報告書第3集遺跡詳細分布調査報告書への追加

記入を。
答 教育委員会事務局 長 町の図書館に收藏されている資料については、追加記入をしたい。



いいじま 飯島 まもる 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

台風19号で 避難勧告が 出たが

新田地区で 3世帯8人が 避難した

問 台風19号で、漆原新田地域の避難状況は。

答 町長 新田地区95世帯263人に対して、社会体育館に3世帯8人が避難した。

問 日頃の訓練が生かされたのか。また、災害対策本部から自治会長への連絡は。

答 町民生活課長 日頃の訓練が生かされたのか確認できていない。自治会長と新田地区の地区代表に避難について電話連絡した。

問 避難場所が社会体育館になった理由は。

答 町民生活課長 集会所などの検討も

したが、収容人数が分散し、それに対応する職員の数も必要となることを考慮し、95世帯263人の収容が可能な施設でなければと考えたためである。

問 視覚および聴覚の障害者や、寝たきりの状態の人、1人暮らしのお年寄りの避難勧告の対処は。

答 町民生活課長 職員が名簿対象者

を調べ、自治会長、地区代表に対象者の避難対応を行うよう連絡した。

問 1人暮らし老人緊急通報システムがあり、利用者は17人ということだが、視覚および聴覚の障害者の人たちも利用できるように拡充できないか。

答 健康福祉課長 対象者の拡大を検討。



建物の老朽化対策が求められる (児童館)

問 長野県では消防団が半鐘を鳴らしたとの報道があったが、地域限定で設置しては。

答 町民生活課長 あらゆる手段を考えながら災害時の情報発信に努めたい。

問 学校のICT化について、児童生徒数に対する教育用コンピュータの数が、県平均より少ないようだが。

答 教育長 教材として有効なソフトウェアの導入も整備していくことが大切と考えている。

答 教育長 コンピューター室を中心に整備しているが、各校が比較的大規模校で分母が大きくなるためと考えている。

問 今後の見通しは。

答 教育長 教材として有効なソフトウェアの導入も整備していくことが大切と考えている。

児童館の改築計画は

答 長寿命化計画を来年度中に策定

問 児童館の床や遊具、家具が傷んでいるが、改築の計画は。

答 町長 長寿命化計画を来年度中に策定する予定である。

問 デ・レイケ堰堤を船尾滝と一体に観光資源として活用しては。

答 産業建設課長 防災・減災効果がわかる看板を備えた駐車スペースを、林道事業の一環として整備する計画である。



こいけ はるお 小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

選挙公約の 実現などの 検証は

答 町長などの 給与カットなど

問 町長就任から8カ
月。選挙公約でこ
れまでにできたもの、あ
るいは道半ばであるも
の、こんなことをやって
いきたいというものが
あると思うが、現時点の
選挙公約の検証は。

答 町長 公約実現で
は、町長20%・副
町長・教育長10%の給
与減額。準備が整って
きているものは、吉中
生オリンピックへのい
ざないで1000人分の
当選、手話言語条例の
本定例会での提案、子
育て世代包括支援セン
ターの開設、役場窓口
対応改善に向けた総合
案内の設置など。消防

防災総合訓練では、よ
り高い危機管理を持っ
た訓練ができた。他の
事業は実現に向け準
備・検討中。

問 町長の施政方針の
中で、駒小体育館
改築工事業がある。来
年の卒業式・入学式に間
に合わせるかとスタート
した。しかし、早々に工
期内に完成できないよ
うな報告。工期に間に合
わないことで物事が進
んでいないようだが。

答 町長 最初から延
期ありきでは無か
った。当初に工期内に
仕上げるという話も
聞いている。その後
突発的な内容などの

変更があったと理解
している。

問 保育園・幼稚園・
小学校・中学校の
給食費を無料とする時
期にきていると思う
が、町長の決意は。

答 町長 町としても、
そのような制度な
どを検討していきたい
と考えている。

問 榛東村では、18歳
程度まで、医療費
の無料制度を来年度か
ら実施する。全国へ一
スでも3割くらいの自
治体が実施している。
吉岡町でも実施を。

答 町長 検討課題と
したい。

就学援助制度へ時代に即した対応を

答 基準・対象項目の見直しを検討

問 就学援助制度の利
用は全国平均が約
15%。吉岡町では5%

未満と低い。子ども
の貧困が問題となってい
る現在、時代に即した

対応が求められるが。

答 教育長 子どもた
ちがしっかりと義
務教育を受けて、力を
つけて、社会的自立を
図っていくことは教育
の責任。すべての子ど
もたちに保証したい。

問 町には福祉タクシ
ー事業・相乗り推
奨タクシ―運賃等助成
事業と2つがあるが、
利用しやすいように改
善を。

答 町長 両制度の一
本化など、使い勝
手のよい制度移行を
検討中。



保育園・幼稚園・小学校・中学校の給食費無料化が望まれる